

14
8/10

問一

- a ☒ (i) ア ☒ (ii) イ
- b ☒ (i) ア ☒ (ii) エ

- c ☒ (i) エ ☒ (ii) イ
- d ☒ (i) ウ ☒ (ii) エ

- e ☒ (i) オ ☒ (ii) エ

《合格への一手》
およその展開は押さえられているが、細部の読解に不安な点がある。
物語の読解では、会話後の発話者自身の行動や相手の反応など、
前後の展開を踏まえて本文の流れを理解することが必要だ。
解説を見直し、解答を導くまでの流れを確認しよう。

15
5/8

問二

2/4 △

あなた様の病も治らせてさしあげましょう。
御も尊敬を表す
接頭語とらえよう。
ふとこの訳出が欠けている。
全うするべきことなど訳そう。 -1
「やめ(やむ)も(病気を治す)意にとらえ
「やめ(やむ)で(治して差し上げる)などと訳そう。 -1
「で」は強い意に
訳出しよう。 注

5

3/4 △

一心にお頼みなさればおはえいたします

16
3/3

問三

ウ ☒ (i) ☒ (ii) オ
「頼む」を「依頼する」意にとらえている。
典薬の姫君がこれから先も自分を
すくうと頼りにする(ならば)という気持ちを
とらえて訳出しよう。 注
「仕うまつる」を「仕ふ」の謙譲語とらえている。
「こは」は典薬が姫君のために焼石を採ってくる
という文脈なので、「仕うまつる」は他動詞「す」の
謙譲語ととらえる。 -1

17
0/3

問四

ウ ☒ (i) ☒ (ii) オ
この後典薬とあきぎの会話が続き、典薬は
あきぎの計略にかかっていくことが記されているので
「無視して」は不適切。

18
0/3

問五

ウ ☒ (i) ☒ (ii) オ
あきぎは典薬を追いかけて出そうとしているのであり
本当に姫君の立場を分かってもらおうなどとは
考えていないので不適切。

19
2/3

問五

姫君と結婚したいという気持ち。

典薬が姫君と結婚したい気持ちはずでに明らか。
焼石を採ってくることで改めて見せようとする。
「結婚したい」という意志の根本にあるものを
説明しよう。 注